

日 本 人 物 レ フ ァ レ ン ス 事 典

芸能篇

Ⅱ

伝統芸能

日 本 人 物 レ フ ア レ ン ス 事 典

芸能篇

Ⅱ

伝統芸能

日本人物レファレンス事典

芸能篇 II 伝統芸能

2014 年 6 月 25 日 第 1 刷発行

発 行 者／大高利夫

編集・発行／日外アソシエーツ株式会社

〒143-8550 東京都大田区大森北 1-23-8 第3下川ビル

電話 (03)3763-5241(代表) FAX(03)3764-0845

URL <http://www.nichigai.co.jp/>

発 売 元／株式会社紀伊國屋書店

〒163-8636 東京都新宿区新宿 3-17-7

電話 (03)3354-0131(代表)

ホールセール部(営業) 電話 (03)6910-0519

電算漢字処理／日外アソシエーツ株式会社

印刷・製本／光写真印刷株式会社

不許複製・禁無断転載

《中性紙三菱クレームエレガ使用》

〈落丁・乱丁本はお取り替えいたします〉

ISBN978-4-8169-2471-2

Printed in Japan, 2014

本書はデジタルデータでご利用いただくことができます。詳細はお問い合わせください。

BIOGRAPHY INDEX

10,936 Japanese Entertainer
Appearing in 453 Volumes of
277 Biographical Dictionaries and Encyclopedias
II Traditional Performing Arts

Compiled by
Nichigai Associates, Inc.

©2014 by Nichigai Associates, Inc.
Printed in Japan

本書はデジタルデータでご利用いただくことができます。詳細はお問い合わせください。

刊行にあたって

本書は、日本の芸能分野の人物がどの事典にどの名前で掲載されているかが一覧できる総索引である。

人物について調べようとするとき、事典類が調査の基本資料となる。しかし、人名事典、百科事典、歴史事典、テーマごとの専門事典、都道府県別・国別の事典など、数多くの事典類の中から、特定の人物がどの事典のどこに掲載されているかを把握することは容易ではない。そうした人物調査に役立つ総索引ツールとして、小社では「人物レファレンス事典」シリーズを刊行してきた。1983年から最初のシリーズを刊行開始し、1996年から2013年には、その後に出版された事典類を索引対象に追加、時代別に再構成した新訂増補版として、「古代・中世・近世編」「古代・中世・近世編Ⅱ（1996-2006）」「明治・大正・昭和（戦前）編」「明治・大正・昭和（戦前）編Ⅱ（2000-2009）」「昭和（戦後）・平成編」「昭和（戦後）・平成編Ⅱ（2003-2013）」の6種を刊行、さらにそこでは索引対象に入っていなかった地方人物事典、県別百科事典を対象とした「郷土人物編」を2008年に刊行した。また、外国人を対象とした「外国人物レファレンス事典」シリーズでは、1999年から2011年に、時代別に「古代－19世紀」「古代－19世紀 第Ⅱ期（1999-2009）」「20世紀」「20世紀 第Ⅱ期（2002-2010）」の4種を刊行した。これらのシリーズは、人物調査の第1段階の基本ツールとして、時代や地域に応じてご活用いただいているが、特定分野の人物を広範に調べるためには、日本人は7種、外国人は4種すべてを検索する必要があった。

本書では、分野別の事典総索引として、既刊の「文芸篇」「美術篇」「科学技術篇」「音楽篇」「思想・哲学・歴史篇」に続くもので、日本の芸能分野の人物を幅広く収録した。本巻「Ⅱ 伝統芸能」では日本で江戸時代までに成立していた伝統芸能分野の人物を対象とし、277種453冊の事

典に掲載されている能楽師・狂言師・歌舞伎役者・浄瑠璃太夫・文楽人形遣い・日本舞踊家・落語家・講談師・浪曲師など各分野の10,936人を収録した。なお、映画・演劇・ダンスなど明治期以降に発展した芸能分野の人物については、「Ⅰ 映画・演劇・タレント」に収録している。人名見出しには、人物同定に役立つよう、人名表記・読み・生没年、事典類に使われた異表記・異読み・別名を示し、加えて、活動時期、職業・肩書、分野、業績などを簡潔に示し、人物の概要がわかるようにした。その上で、どの事典にその人物が載っているか、どんな見出し（表記・読み・生没年）で掲載されているかを一覧することができる。時代的にも地域的にも、日本の芸能分野の人物を網羅的に収録した最大の人名ツールとして使える。さらに、西洋人を収録した「西洋人物レファレンス事典 映画・演劇・芸能・舞踏篇」と併せれば、世界の芸能関係の人物を幅広く調べることができる。

編集にあたっては、誤りのないよう調査・確認に努めたが、人物確認や記述に不十分な点もあるかと思われる。お気づきの点をご教示いただければ幸いである。

本書が、既刊の「人物レファレンス事典」シリーズと同様に、人物調査の基本ツールとして図書館・研究機関などで広く利用されることを期待したい。

2014年4月

日外アソシエーツ

凡 例

1. 本書の内容

本書は、国内で刊行された人物事典、百科事典、芸能事典、歴史事典、地域別人名事典などに掲載されている、日本の芸能分野の人物の総索引である。見出しとしての人名表記・読みのほか、異表記・異読み、生没年、その人物の活動時期、職業・肩書、分野、業績など人物の特定に最低限必要なプロフィールを補記するとともに、その人物がどの事典にどのような表記・読みで掲載されているかを明らかにしたものである。

2. 収録範囲と人数

- (1) 別表「収録事典一覧」に示した 277 種 453 冊の事典類に掲載されている、日本の芸能分野の人物を収録した。
- (2) 「Ⅱ 伝統芸能」では、江戸時代までに成立していた伝統芸能分野の人物を収録対象とし、能楽師・狂言師・歌舞伎役者・浄瑠璃太夫・文楽人形遣い・日本舞踊家・落語家・講談師・浪曲師など 10,936 人、事典項目のべ 46,215 件を収録した。映画・演劇・ダンスなど明治期以降に発展した芸能分野の人物については、「Ⅰ 映画・演劇・タレント」に収録している。

3. 記載事項

(1) 人名見出し

- 1) 同一人物は、各事典での表記・読みに関わらず 1 項目にまとめた。その際、最も一般的と思われるものを代表表記・代表読みとし、太字で見出しとした。
- 2) 代表表記に対し同読みの異表記がある場合は、代表表記の後に () で囲んで示した。
例：出雲阿国（出雲お国，出雲のお国，出雲の阿国）
- 3) 事典に人名の読みが記載されていなかったものについては、編集部で調査の上、適切と思われる読みを補記し末尾に★を付した。
- 4) 代表読みに対し部分的に清濁音・拗促音の差のある読みが存在する場合は、代表読みの後に「,」で区切って表示した。

例：あねかわしんしろう、あねがわしんしろう

- 5) 事典によっては読みの「ぢ」「づ」を「じ」「ず」に置き換えているものと、両者を区別しているものがある。本書は、代表読みでは区別する方式を採った。その上で、事典によって「ぢ」「じ」、「づ」「ず」の違いがある場合は、代表読みの後に「,」で区切って表示した。

(2) 人物説明

1) 生没年表示

- ①対象事典に掲載されている生没年（月日）を代表生没年として示した。
- ②生没年に諸説ある場合、過半数の事典で一致する年（月日）があればそれを採用した。過半数の一致がない場合は*で示した。（比較は生年、没年それぞれで行った。）
- ③年表示は和暦と西暦の併記とした。和暦・西暦のいずれか一方だけが掲載されている場合は編集部で換算して記載した。事典類に掲載されている年単位の対応を採用、または一律に換算したため、明治5年以前では月日によっては誤差の生じている可能性もある。およその目安としてご利用いただきたい。
- ④生年のみ不詳、没年は判明の場合、生年の部分には「？」を用いた。没年のみ不詳の場合も同様とした。
- ⑤生年・没年とも不詳の場合は、「生没年不詳」とした。
- ⑥現代の人物で、没年を記載した事典がない場合は、没年を表示しなかった。

2) 別名

本書の見出しと異なる表記・読みを採用している事典がある場合は、それらをまとめて掲載した。

3) プロフィール

人物を同定するための最低限の情報として、その人物の活動時期と職業・肩書、業績を補記した。

- ①本書の活動時期は以下の基準で区分した。
 - ・飛鳥時代 8世紀初頭（奈良遷都）まで
 - ・奈良時代 8世紀末（長岡・平安遷都）まで
 - ・平安時代前期 9世紀末～10世紀初頭（菅原道真左遷の頃）まで
 - ・平安時代中期 11世紀後半（白河院政開始の頃）まで
 - ・平安時代後期 12世紀末（平氏滅亡、鎌倉幕府成立）まで

- ・鎌倉時代前期 13 世紀後半（元寇の頃）まで
- ・鎌倉時代後期 14 世紀前半（鎌倉幕府滅亡）まで
- ・南北朝時代 14 世紀末（南北両朝合一）まで
- ・室町時代 15 世紀後半（応仁・文明の乱）まで
- ・戦国時代 16 世紀半ば（織田信長上洛、室町幕府滅亡）まで
- ・安土桃山時代 17 世紀初頭（関ヶ原の戦い、江戸幕府成立）まで
- ・江戸時代前期 17 世紀末（綱吉将軍就任、元禄時代開始）まで
- ・江戸時代中期 18 世紀末（田沼意次失脚、家斉将軍就任）まで
- ・江戸時代後期 19 世紀半ば（黒船来航、開国）まで
- ・江戸時代末期 1867,68 年（王政復古、明治改元）まで
- ・明治期 1912 年まで
- ・大正期 1926 年まで
- ・昭和期 1988 年まで
- ・平成期 1989 年以降

②人物の職業・肩書、業績を簡潔に記載した。

(3) 掲載事典

- 1) その人物が掲載されている事典を『の後に略号で示した。（略号は別表「収録事典一覧」を参照）
- 2) 事典における記載が、見出しの代表表記、代表読み、生没年表示と異なるときは略号の後に（ ）で囲んでその内容を示した。その際、生年は⑤、没年は⑥で表した。
- 3) 事典が西暦・和暦のいずれかしか記載していない場合はそれを示し、西暦・和暦の両方を記載していれば両方を示した。

(4) 共通事項

- 1) 漢字は新字体・常用漢字に統一した。
- 2) 代数表示は名の後に〔 〕で囲んで表示した。事典によっては代数表示を「○世」の形にしているものもある。本書では見出しではすべて「○代」の形に統一し、各事典における記述の相違点を示す際には、もとの表示を使用した。また「初代」は「1 代」と表示した。
- 3) 和暦における「元年」は「1 年」と表示した。

4. 参照項目

見出しの代表表記、代表読みと異なる別表記・別読みからは参照項目を立てた。

5. 排 列

- (1) 人名見出しの読みの五十音順に排列した。
- (2) 「ぢ」「づ」と「じ」「ず」は排列上も区別した。
- (3) 同読みの場合は代数順とし、代数まで一致する場合は同じ表記のものをまとめた。
- (4) 読み、代数、表記とも同一の人物は、おおむね活動時期の古い順番に並べた。
- (5) 掲載事典は略号の五十音順に記載した。

6. 収録事典一覧

- (1) 本書で索引対象にした事典類の一覧を次ページ以降（9～16ページ）に掲げた。
- (2) 略号は本書において掲載事典名の表示に用いたものである。
- (3) 掲載は略号の五十音順とした。

収録事典一覧

略号	書名	出版社	刊行年
愛知百	『愛知百科事典』	中日新聞本社	1976.10
会津	『会津大事典』	国書刊行会	1985.12
青森人	『青森県人名事典』	東奥日報社	2002.8
青森百	『青森県百科事典』	東奥日報社	1981.3
秋田百	『秋田大百科事典』	秋田魁新報社	1981.9
朝日	『朝日日本歴史人物事典』	朝日新聞社	1994.11
アナ	『日本アナキズム運動人名事典』	ばる出版	2004.4
石川文	『石川近代文学事典』	和泉書院	2010.3
石川百	『書府太郎—石川県大百科事典 改訂版』	北国新聞社	2004.11
維新	『明治維新人名辞典』	吉川弘文館	1981.9
茨城百	『茨城県大百科事典』	茨城新聞社	1981.10
岩史	『岩波日本史辞典』	岩波書店	1999.10
岩手百	『岩手百科事典 新版』	岩手放送	1988.10
浮絵	『浮世絵大事典』	東京堂出版	2008.6
海越	『海を越えた日本人名事典』	日外アソシエーツ	1985.12
海越新	『海を越えた日本人名事典 新訂増補版』	日外アソシエーツ	2005.7
映監	『日本映画人名事典 監督篇』	キネマ旬報社	1997.11
映女	『日本映画人名事典 女優篇』	キネマ旬報社	1995.8
映人	『日本の映画人』	日外アソシエーツ	2007.6
映男	『日本映画人名事典 男優篇』	キネマ旬報社	1996.10
江戸	『江戸市井人物事典』	新人物往来社	1974.11
愛媛百	『愛媛県百科大事典 上下』	愛媛新聞社	1985.6
江文	『江戸文人辞典』	東京堂出版	1996.9
大分百	『大分百科事典』	大分放送	1980.12
大分歴	『大分県歴史人物事典』	大分合同新聞社	1996.8
大阪人	『大阪人物辞典』	清文堂出版	2000.11
大阪文	『大阪近代文学事典』	和泉書院	2005.5
大阪墓	『大阪墓碑人物事典』	東方出版	1995.11
岡山人	『岡山人名事典』	日本文教出版	1978.2
岡山百	『岡山県大百科事典 上下』	山陽新聞社	1980.1
岡山歴	『岡山県歴史人物事典』	山陽新聞社	1994.10
沖縄百	『沖縄大百科事典 上中下』	沖縄タイムス社	1983.5
音楽	『新音楽辞典 人名』	音楽之友社	1982.10

略 号	書 名	出版社	刊行年
音 人	『音楽家人名事典』	日外アソシエーツ	1991.1
音人2	『音楽家人名事典 新訂』	日外アソシエーツ	1996.10
音人3	『音楽家人名事典 新訂第3版』	日外アソシエーツ	2001.11
香川人	『香川県人物・人名事典』	四国新聞社	1985.6
香川百	『香川県大百科事典』	四国新聞社	1984.4
鹿児島百	『鹿児島大百科事典』	南日本新聞社	1981.9
角 史	『角川日本史辞典 新版』	角川書店	1996.11
神奈川人	『神奈川県史 別編1 人物 神奈川歴史人名事典』	神奈川県	1983.3
神奈川百	『神奈川県大百科事典』	大和書房	1983.7
歌 舞	『歌舞伎人名事典』	日外アソシエーツ	1988.9
歌舞新	『歌舞伎人名事典 新訂増補版』	日外アソシエーツ	2002.6
歌舞事	『歌舞伎事典 新版』	平凡社	2011.3
歌舞大	『最新歌舞伎大事典』	柏書房	2012.7
鎌 倉	『鎌倉事典 新装普及版』	東京堂出版	1992.1
鎌 室	『鎌倉・室町人名事典』	新人物往来社	1985.11
上 落	『上方落語家名鑑 第2版』	出版文化社	2010.3
紀伊文	『紀伊半島近代文学事典 和歌山・三重』	和泉書院	2002.12
教 育	『教育人名辞典』	理想社	1962.2
京 都	『京都事典 新装版』	東京堂出版	1993.10
郷 土	『郷土史家人名事典』	日外アソシエーツ	2007.12
郷土愛媛	『郷土歴史人物事典 愛媛』	第一法規出版	1978.7
郷土茨城	『郷土歴史人物事典 茨城』	第一法規出版	1978.10
郷土香川	『郷土歴史人物事典 香川』	第一法規出版	1978.6
郷土神奈川	『郷土歴史人物事典 神奈川』	第一法規出版	1980.6
郷土岐阜	『郷土歴史人物事典 岐阜』	第一法規出版	1980.12
郷土群馬	『郷土歴史人物事典 群馬』	第一法規出版	1978.10
郷土滋賀	『郷土歴史人物事典 滋賀』	第一法規出版	1979.7
京都大	『京都大事典』	淡交社	1984.11
郷土千葉	『郷土歴史人物事典 千葉』	第一法規出版	1980.1
郷土長崎	『郷土歴史人物事典 長崎』	第一法規出版	1979.4
郷土長野	『郷土歴史人物事典 長野』	第一法規出版	1978.2
郷土奈良	『郷土歴史人物事典 奈良』	第一法規出版	1981.10
京都府	『京都大事典 府域編』	淡交社	1994.3
京都文	『京都近代文学事典』	和泉書院	2013.5
郷土福井	『郷土歴史人物事典 福井』	第一法規出版	1985.6
郷土和歌山	『郷土歴史人物事典 和歌山』	第一法規出版	1979.10
キ リ	『キリスト教人名辞典』	日本基督教出版局	1986.2
近 医	『日本近現代医学人名事典—1868 - 2011』	医学書院	2012.12

略号	書名	出版社	刊行年
近現	『日本近現代人名辞典』	吉川弘文館	2001.7
近女	『近現代日本女性人名事典』	ドメス出版	2001.3
近世	『日本近世人名辞典』	吉川弘文館	2005.12
近美	『近代日本美術事典』	講談社	1989.9
近文	『日本近代文学大事典 1～3 (人名)』	講談社	1977.11
公卿	『公卿人名大事典』	日外アソシエーツ	1994.7
熊本百	『熊本県大百科事典』	熊本日日新聞社	1982.4
群馬人	『群馬県人名大事典』	上毛新聞社	1982.11
群馬百	『群馬県百科事典』	上毛新聞社	1979.2
芸能	『日本芸能人名事典』	三省堂	1995.7
現朝	『現代日本朝日人物事典』	朝日新聞社	1990.12
幻作	『日本幻想作家名鑑』	幻想文学出版局	1991.9
現詩	『現代詩大事典』	三省堂	2008.1
現執1期	『現代日本執筆者大事典』	日外アソシエーツ	1978.5～1980.4
現執2期	『現代日本執筆者大事典 77/82』	日外アソシエーツ	1984.3～1986.3
現執3期	『新現代日本執筆者大事典』	日外アソシエーツ	1992.12～1993.6
現執4期	『現代日本執筆者大事典 第4期』	日外アソシエーツ	2003.11
現情	『現代人名情報事典』	平凡社	1987.8
現人	『現代人物事典』	朝日新聞社	1977.3
現政	『新訂 現代政治家人名事典』	日外アソシエーツ	2005.2
幻想	『日本幻想作家事典』	国書刊行会	2009.1
現日	『現代日本人物事典』	旺文社	1986.11
現俳	『現代俳句大事典』	三省堂	2005.11
考古	『日本考古学人物事典』	学生社	2006.2
高知人	『高知県人名事典 新版』	高知新聞社	1999.9
高知百	『高知県百科事典』	高知新聞社	1976.6
国際	『国際人事典 幕末・維新』	毎日コミュニケーションズ	1991.6
国史	『国史大辞典』	吉川弘文館	1979.3～1993.4
国書	『国書人名辞典 1～4 (本文)』	岩波書店	1993.11～1998.11
国書5	『国書人名辞典 5 (補遺)』	岩波書店	1999.6
古史	『日本古代史大辞典』	大和書房	2006.1
古代	『日本古代氏族人名辞典』	吉川弘文館	1990.11
古中	『日本古代中世人名辞典』	吉川弘文館	2006.11
コン改	『コンサイス日本人名事典 改訂版』	三省堂	1990.4
コン4	『コンサイス日本人名事典 第4版』	三省堂	2001.9
コン5	『コンサイス日本人名事典 第5版』	三省堂	2009.1
埼玉人	『埼玉人物事典』	埼玉県	1998.2
埼玉百	『埼玉大百科事典』	埼玉新聞社	1974.3～1975.5

略号	書名	出版社	刊行年
佐賀百	『佐賀県大百科事典』	佐賀新聞社	1983.8
作家	『現代作家辞典 新版』	東京堂出版	1982.7
作曲	『日本の作曲家』	日外アソシエーツ	2008.6
札幌	『札幌人名事典』	北海道新聞社	1993.9
茶道	『茶道人物辞典』	柏書房	1981.9
詩歌	『和漢詩歌作家辞典』	みづほ出版	1972.11
視覚	『視覚障害人名事典』	名古屋ライトハウス愛育報恩会	2007.10
史学	『歴史学事典 5 歴史家とその作品』	弘文堂	1997.10
滋賀百	『滋賀県大百科事典』	大和書房	1984.7
滋賀文	『滋賀近代文学事典』	和泉書院	2008.11
史研	『日本史研究者辞典』	吉川弘文館	1999.6
四国文	『四国近代文学事典』	和泉書院	2006.12
詩作	『詩歌作者事典』	鼎書房	2011.11
史人	『日本史人物辞典』	山川出版社	2000.5
児人	『児童文学者人名事典 日本人編 上下巻』	出版文化研究会	1998.10
静岡百	『静岡県大百科事典』	静岡新聞社	1978.3
静岡歴	『静岡県歴史人物事典』	静岡新聞社	1991.12
実業	『日本の実業家』	日外アソシエーツ	2003.7
児文	『児童文学事典』	東京書籍	1988.4
島根人	『島根県人名事典』	伊藤菊之輔	1970.9
島根百	『島根県大百科事典 上下』	山陰中央新報社	1982.7
島根歴	『島根県歴史人物事典』	山陰中央新報社	1997.11
ジャ	『新・世界ジャズ人名辞典』	スイングジャーナル社	1988.5
社運	『日本社会運動人名辞典』	青木書店	1979.3
写家	『日本の写真家』	日外アソシエーツ	2005.11
社史	『近代日本社会運動史人物大事典』	日外アソシエーツ	1997.1
写人	『現代写真人名事典』	日外アソシエーツ	2005.12
重要	『日本重要人物辞典 新訂版』	教育社	1988.12
出版	『出版人物事典』	出版ニュース社	1996.10
出文	『出版文化人物事典』	日外アソシエーツ	2013.6
小説	『日本現代小説大事典 増補縮刷版』	明治書院	2009.4
庄内	『庄内人名辞典 新編』	庄内人名辞典刊行会	1986.11
女運	『日本女性運動資料集成 別巻』	不二出版	1998.12
植物	『植物文化人物事典』	日外アソシエーツ	2007.4
食文	『日本食文化人物事典』	筑波書房	2005.4
諸系	『日本史諸家系図人名辞典』	講談社	2003.11
女史	『日本女性史大辞典』	吉川弘文館	2008.1
女性	『日本女性人名辞典』	日本図書センター	1993.6

略号	書名	出版社	刊行年
女性普	『日本女性人名辞典 普及版』	日本図書センター	1998.10
女優	『日本映画俳優全集 女優篇』	キネマ旬報社	1980.12
新芸	『新撰 芸能人物事典 明治～平成』	日外アソシエーツ	2010.11
人書79	『人物書誌索引』	日外アソシエーツ	1979.3
人書94	『人物書誌索引 78/91』	日外アソシエーツ	1994.6
神人	『神道人名辞典』	神社新報社	1986.7
新潮	『新潮日本人名辞典』	新潮社	1991.3
新文	『(増補改訂) 新潮日本文学辞典』	新潮社	1988.1
人名	『日本人名大事典〔覆刻版〕』	平凡社	1979.7
人名7	『日本人名大事典 現代』	平凡社	1979.7
世紀	『20世紀日本人名事典』	日外アソシエーツ	2004.7
姓氏愛知	『角川日本姓氏歴史人物大辞典 23 (愛知県)』	角川書店	1991.10
姓氏石川	『角川日本姓氏歴史人物大辞典 17 (石川県)』	角川書店	1998.12
姓氏岩手	『角川日本姓氏歴史人物大辞典 3 (岩手県)』	角川書店	1998.5
姓氏沖縄	『角川日本姓氏歴史人物大辞典 47 (沖縄県)』	角川書店	1992.10
姓氏鹿児島	『角川日本姓氏歴史人物大辞典 46 (鹿児島県)』	角川書店	1994.11
姓氏神奈川	『角川日本姓氏歴史人物大辞典 14 (神奈川県)』	角川書店	1993.4
姓氏京都	『角川日本姓氏歴史人物大辞典 26 (京都市)』	角川書店	1997.9
姓氏群馬	『角川日本姓氏歴史人物大辞典 10 (群馬県)』	角川書店	1994.12
姓氏静岡	『角川日本姓氏歴史人物大辞典 22 (静岡県)』	角川書店	1995.12
姓氏富山	『角川日本姓氏歴史人物大辞典 16 (富山県)』	角川書店	1992.7
姓氏長野	『角川日本姓氏歴史人物大辞典 20 (長野県)』	角川書店	1996.11
姓氏宮城	『角川日本姓氏歴史人物大辞典 4 (宮城県)』	角川書店	1994.7
姓氏山口	『角川日本姓氏歴史人物大辞典 35 (山口県)』	角川書店	1991.12
世人	『(新版) 世界人名辞典 日本編〈増補版〉』	東京堂出版	1990.7
政治	『新訂 政治家人名事典 明治～昭和』	日外アソシエーツ	2003.10
世百	『世界大百科事典』	平凡社	1964.7～1967.11
世百新	『世界大百科事典 改訂新版 1～30』	平凡社	2007.9
先駆	『事典近代日本の先駆者』	日外アソシエーツ	1995.6
戦合	『戦国武将・合戦事典』	吉川弘文館	2005.3
戦国	『戦国人名辞典 増訂版』	吉川弘文館	1973.7
戦辞	『戦国人名辞典』	吉川弘文館	2006.1
全書	『日本大百科全書』	小学館	1984.11～1988.11
戦人	『戦国人名事典』	新人物往来社	1987.3
戦東	『戦国大名家臣団事典 東国編』	新人物往来社	1981.8
戦補	『戦国人名辞典 増訂版〔補遺〕』	吉川弘文館	1973.7
川柳	『川柳総合大事典 第1巻〈人物編〉』	雄山閣	2007.8
創業	『日本の創業者—近現代起業家人名事典』	日外アソシエーツ	2010.3

略号	書名	出版社	刊行年
大百	『大日本百科事典』	小学館	1967.11～1971.9
多摩	『多摩の人物史』	武蔵野郷土史刊行会	1977.6
男優	『日本映画俳優全集 男優篇』	キネマ旬報社	1979.10
千葉百	『千葉大百科事典』	千葉日報社	1982.3
哲学	『近代日本哲学思想家辞典』	東京書籍	1982.9
テレ	『テレビ・タレント人名事典 第6版』	日外アソシエーツ	2004.6
鉄道	『鉄道史人物事典』	鉄道史学会	2013.2
伝記	『世界伝記大事典 日本・朝鮮・中国編』	ほるぷ出版	1978.7
東京	『江戸東京市井人物事典』	新人物往来社	1976.10
東落	『東京落語家名鑑 2009』	小学館	2009.4
徳島百	『徳島県百科事典』	徳島新聞社	1981.1
徳島歴	『徳島県歴史人名鑑（徳島県人名事典 別冊）』	徳島新聞社	1994.6
渡航	『幕末・明治 海外渡航者総覧』	柏書房	1992.3
栃木歴	『栃木県歴史人物事典』	下野新聞社	1995.7
鳥取百	『鳥取県大百科事典』	新日本海新聞社	1984.11
富山百	『富山大百科事典』	北日本新聞社	1994.8
富山文	『富山県文学事典』	桂書房	1992.9
長崎百	『長崎県大百科事典』	長崎新聞社	1984.8
長崎歴	『長崎事典 歴史編 1988年版』	長崎文献社	1988.9
長野百	『長野県百科事典 補訂版』	信濃毎日新聞社	1981.3
長野歴	『長野県歴史人物大事典』	郷土出版社	1989.7
奈良文	『奈良近代文学事典』	和泉書院	1989.6
新潟百	『新潟県大百科事典 上下』	新潟日報事業社	1977.1
新潟百別	『新潟県大百科事典 別巻』	新潟日報事業社	1977.9
日映男	『現代日本映画人名事典 男優篇』	キネマ旬報社	2012.1
日音	『日本音楽大事典』	平凡社	1989.3
日画	『20世紀物故日本画家事典』	美術年鑑社	1998.9
日思	『日本思想史辞典』	ベリかん社	2001.6
日史	『日本史大事典』	平凡社	1992.11～1994.2
日児	『日本児童文学大事典 1・2』	大日本図書	1993.10
日人	『講談社日本人名大辞典』	講談社	2001.12
日本	『日本人名事典』	むさし書房	1996.7
人情	『年刊人物情報事典 81（上下）』	日外アソシエーツ	1981.6
人情3	『年刊人物情報事典 82（3）』	日外アソシエーツ	1982.10
人情4	『年刊人物情報事典 82（4）』	日外アソシエーツ	1982.10
人情5	『年刊人物情報事典 82（5）』	日外アソシエーツ	1982.10
能狂言	『能・狂言事典 新版』	平凡社	2011.1
俳諧	『俳諧人名辞典』	巖南堂	1960.6

略号	書名	出版社	刊行年
俳句	『俳句人名辞典』	金園社	1997.2
俳文	『俳文学大辞典 普及版』	角川学芸出版	2008.1
俳優	『映画俳優事典 戦前日本篇』	未来社	1994.8
幕末	『幕末維新人名事典』	新人物往来社	1994.2
藩臣1	『三百藩家臣人名事典 1』	新人物往来社	1987.12
藩臣2	『三百藩家臣人名事典 2』	新人物往来社	1988.2
藩臣4	『三百藩家臣人名事典 4』	新人物往来社	1988.7
藩臣6	『三百藩家臣人名事典 6』	新人物往来社	1989.10
藩臣7	『三百藩家臣人名事典 7』	新人物往来社	1989.5
美家	『美術家人名事典—古今・日本の物故画家 3500 人』	日外アソシエーツ	2009.2
美建	『美術家人名事典 建築・彫刻篇—古今の名匠 1600 人』	日外アソシエーツ	2011.9
美工	『美術家人名事典 工芸篇』	日外アソシエーツ	2010.7
美術	『日本美術史事典』	平凡社	1987.5
百科	『大百科事典』	平凡社	1984.11～1985.6
兵庫人	『兵庫県人物事典 上中下』	のじぎく文庫	1966.12～1968.6
兵庫百	『兵庫県大百科事典 上下』	神戸新聞出版センター	1983.10
兵庫文	『兵庫近代文学事典』	和泉書院	2011.10
広島百	『広島県大百科事典 上下』	中国新聞社	1982.11
福井百	『福井県大百科事典』	福井新聞社	1991.6
福岡百	『福岡県百科事典 上下』	西日本新聞社	1982.11
福島百	『福島大百科事典』	福島民報社	1980.11
仏教	『日本仏教人名辞典』	法蔵館	1992.1
仏史	『日本仏教史辞典』	吉川弘文館	1999.11
仏人	『日本仏教人名辞典』	新人物往来社	1986.5
文学	『日本文学小辞典』	新潮社	1968.1
平史	『平安時代史事典』	角川書店	1994.4
平日	『平凡社日本史事典』	平凡社	2001.2
平和	『平和人物大事典』	日本図書センター	2006.6
北海道文	『北海道文学大事典』	北海道新聞社	1985.10
北海道歴	『北海道歴史人物事典』	北海道新聞社	1993.7
マス2	『現代マスコミ人物事典 第2版』	幸洋出版	1980.3
マス89	『現代マスコミ人物事典 1989版』	二十一世紀書院	1989.2
漫人	『漫画家人名事典』	日外アソシエーツ	2003.2
三重	『三重先賢伝』	玄玄荘	1931.7
三重続	『續三重先賢伝』	別所書店	1933.7
ミス	『日本ミステリー事典』	新潮社	2000.2
宮城百	『宮城県百科事典』	河北新報社	1982.4
民学	『民間学事典 人名編』	三省堂	1997.6